

この資料は、盛岡市人口ビジョンのうち、第 1 章の「盛岡市の人口の現状」及び資料編の「町丁字別の人口増減の変化」について、平成 27 年国勢調査結果を反映させたものです。

盛岡市人口ビジョン



平成 27 年 10 月
盛 岡 市

■修正箇所(赤字)

ページ
2
3
4
5
7
9
10
15

目 次

はじめに	1
第 1 章 盛岡市の人口の現状	
1 本市の人口の長期的推移	2
2 国勢調査結果による人口の概況	2
3 人口動態の推移	3
4 年齢 3 区分別人口の推移	4
5 世帯数の推移	5
6 地区別の人口増減	6
7 東北の主要都市との比較	7
8 自然動態	8
9 社会動態	14
資料編	
4 町丁字別の人口増減の変化（変化率の高い順）	18

はじめに

本市の人口は、バブル経済期の昭和 61 年から平成元年に一時的に減少が見られたものの、長期的には一貫して増加を続けてきました。平成 12 年の 302,857 人（国勢調査：合併前の玉山村を含む。）をピークに一旦減少に転じましたが、東日本大震災が発生した平成 23 年からは、再び微増傾向にあります。

しかし、総合計画策定時（平成 26 年）の人口推計では、本市の将来人口は、平成 52（2040）年には、247,898 人となり、平成 22 年から比べると約 16.9%の減少が見込まれています。

また、年齢 3 区分別の内訳では、15 歳未満の年少人口及び 15～64 歳の生産年齢人口が減少するものの、65 歳以上の老年人口は今後も増加し、少子高齢化が更に進行することが見込まれています。

こうした人口減少及び人口構造の変化により、地域経済の縮小や都市機能の低下、財政の硬直化など、私たちの生活のあらゆる面に影響が及ぶことが懸念されています。

人口減少及び人口構造の変化が一定程度避けられない中においては、適切な対策を講じることで、影響を最小限に食い止め、地域の活力や必要な公共サービスを維持していくことが可能です。

本市は、豊富な地域資源に恵まれていることをはじめとして、高等教育機関、救急医療機関、大規模集客施設などの都市機能が集積していること、交通の結節点であることなど、人口減少社会を見据えた地域の活性化を図る上で、多くの強みを有しており、市民総参加の取組で、積極的に未来を切り拓いていくことが必要です。

これらのことを踏まえ、今般、本市は、本市の人口対策に関する目標や具体的な施策を「盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」として取りまとめることとしました。

この「盛岡市人口ビジョン」は、「盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を検討するに当たり、本市の人口の現状を分析し、将来の展望を示すために策定するものです。

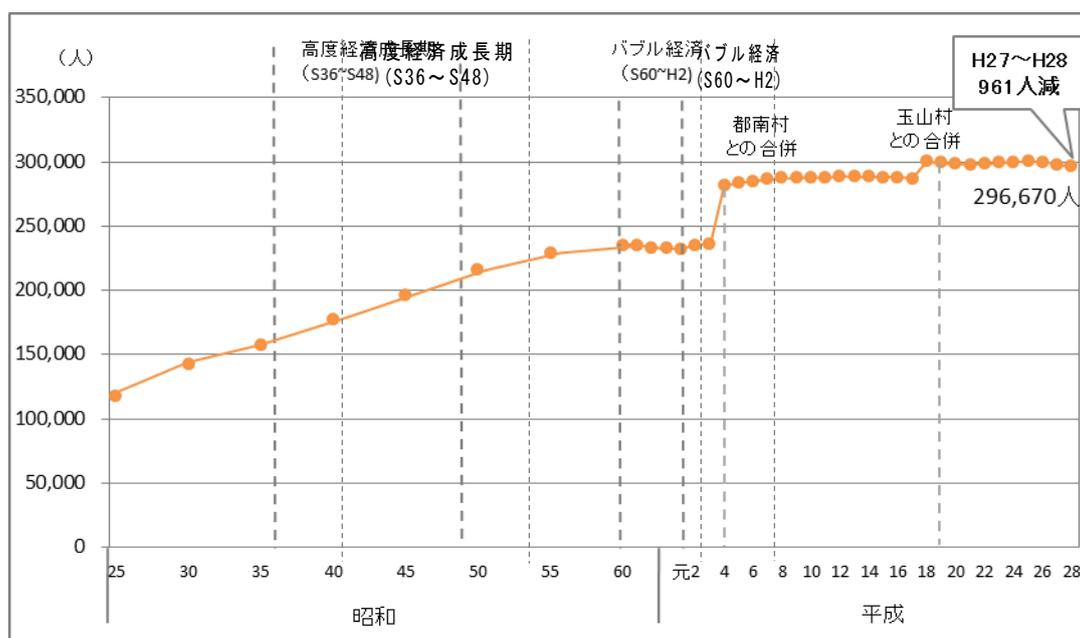
第1章 盛岡市の人口の現状

1 本市の人口の長期的推移

本市の人口は、バブル経済期の昭和61年から平成元年に一時的に減少に転じたものの、長期的には、都南村との合併（平成4年）、玉山村との合併（平成18年）を経ながら、増加を続けてきましたが、平成18年から減少に転じ、東日本大震災が発生した平成23年からは、再び微増しています。

なお、後述するように、合併前の旧都南村及び旧玉山村を含んだ数値では、平成12年が人口のピークです。

図-1 盛岡市の総人口の長期的推移



出所：国勢調査及び推計人口より本市作成

2 国勢調査結果による人口の概況

平成27年国勢調査における盛岡市の人口は297,631人となり、前回の平成22年から717人減少しました。人口の推移をみると、平成12年をピークに減少に転じています。また、岩手県全体の盛岡市の人口に占める割合は、平成27年は23.3%となり、平成2年と比較すると2.6ポイント上昇しています。

表－１ 国勢調査結果による人口の推移

区分	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	H2→H22 増加率
盛岡市	292,632	300,723	302,857	300,746	298,348	297,631	1.7%
岩手県	1,416,928	1,419,505	1,416,180	1,385,041	1,330,147	1,279,594	-10.7%
盛岡市/県 (%)	20.7	21.2	21.4	21.7	22.4	23.3	

出所：国勢調査より本市作成

※ 1 合併前の旧都南村及び旧玉山村の数値を含む。

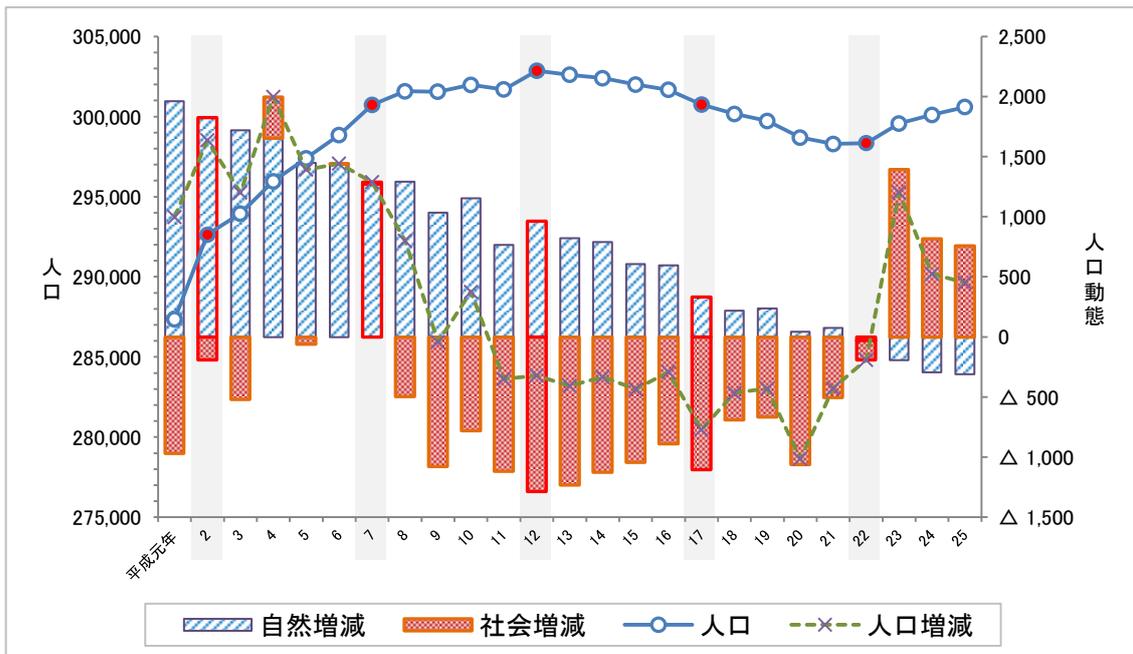
3 人口動態の推移

平成元年から 25 年までの盛岡市の人口は、平成 12 年までの堅調な推移の後、同年をピークに減少傾向でしたが、平成 23 年から増加に転じています。

自然動態は、平成 21 年までは、出生数が死亡数を上回り、その差は縮小しながらもプラスで推移していましたが、22 年からマイナスに転じています。

一方、社会動態では、平成 22 年まではマイナスで推移していましたが、23 年からプラスに転じ、23 年から 25 年の 3 年間の人口増加に寄与しています。

図－２ 盛岡市の人口の推移（各年 10 月 1 日現在）



出所：岩手県人口移動報告年報より本市作成

※ 1 人口：平成 2 年、7 年、12 年、17 年及び 22 年は国勢調査結果。その他の年は、岩手県人口移動報告年報による推計人口（盛岡市の推計値と相違する。）

※ 2 人口動態：岩手県人口移動報告年報による報告値（盛岡市の集計値と相違する。）

4 年齢3区分別人口の推移

本市の年齢3区分別の人口は、15歳未満の年少人口及び15歳から64歳までの生産年齢人口が減少する一方で、65歳以上の老年人口が増加しています。平成2年には年少人口が19.4%、生産年齢人口が70.1%、老年人口が10.5%の人口構成でしたが、平成27年では年少人口が12.5%、生産年齢人口が62.3%、老年人口が25.1%となっており、平成12年以降は、老年人口割合が年少人口割合を上回っています。

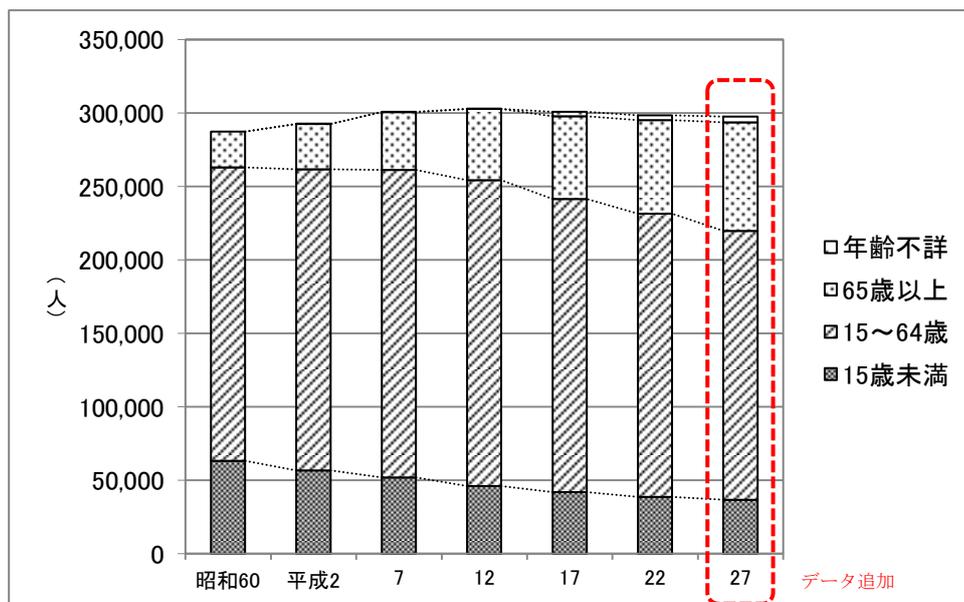
表－2 盛岡市の年齢3区分別人口の推移

区分		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
15歳未満(人)		56,718	52,092	46,159	41,928	38,771	36,828
15～64歳(人)		204,943	209,262	208,171	199,632	192,664	182,979
65歳以上(人)		30,826	39,341	48,469	56,177	63,721	73,729
年齢不詳(人)		145	28	58	3,009	3,192	4,068
構成	15歳未満(%)	19.4%	17.3%	15.2%	14.1%	13.1%	12.5%
	15～64歳(%)	70.1%	69.6%	68.7%	67.0%	65.3%	62.3%
	65歳以上(%)	10.5%	13.1%	16.0%	18.9%	21.6%	25.1%

出所：国勢調査より本市作成

- ※1 合併前の旧都南村及び旧玉山村の数値を含む。
- ※2 構成割合：年齢不詳は除く。

図－3 盛岡市の年齢3区分別人口の推移



出所：国勢調査より本市作成

- ※ 合併前の旧都南村及び旧玉山村の数値を含む。

5 世帯数の推移

国勢調査結果によると、平成27年の一般世帯数は129,420世帯となっており、増加傾向にあります。

平成27年の一般世帯のうち、高齢単独世帯は12,490世帯で、平成2年と比較して約4倍に増加しています。

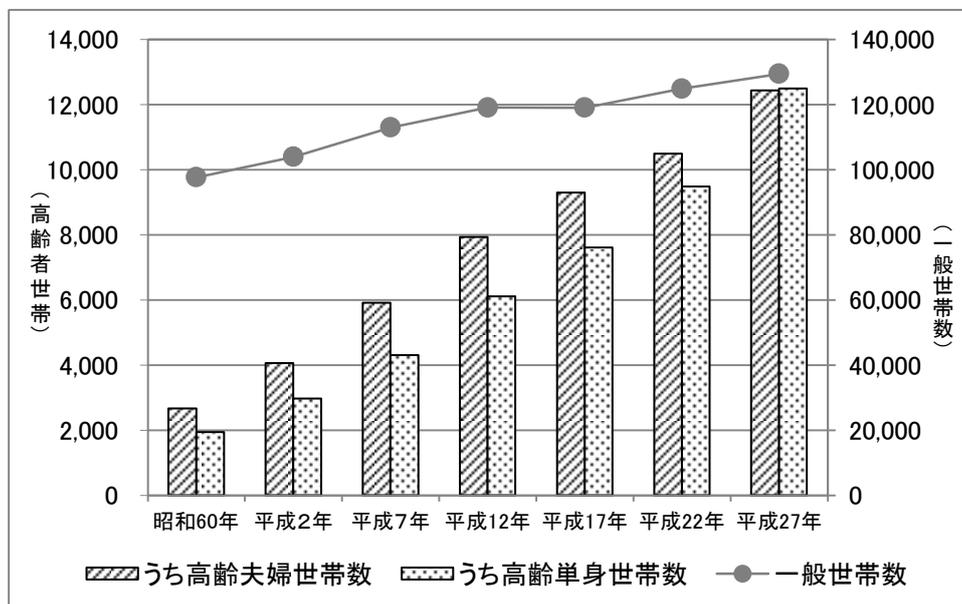
表-3 盛岡市の一般世帯数の推移

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
一般世帯数	103,919	112,913	119,040	118,989	124,839	129,420
うち高齢夫婦世帯数	4,058	5,907	7,929	9,292	10,484	12,431
うち高齢単身世帯数	2,966	4,298	6,109	7,609	9,479	12,490

出所：国勢調査より本市作成

※ 合併前の旧都南村及び旧玉山村の数値を含む。

図-4 盛岡市の一般世帯数の推移



出所：国勢調査より本市作成

※ 合併前の旧都南村及び旧玉山村の数値を含む。

6 地区別の人口増減

本市の地区別の人口は、土淵地区や本宮地区などで増加数、増加率とも高い伸びを示していますが、全体としては、減少している地域が多くなっています。

表－4 地区別の人口増減の変化（変化率の高い順）

	地区名	2006年	2015年	増減数	変化率
1	土淵	2,968	4,590	1,622	154.6%
2	本宮	13,485	18,249	4,764	135.3%
3	見前	23,344	25,069	1,725	107.4%
4	飯岡	16,541	17,475	934	105.6%
5	桜城	11,668	12,283	615	105.3%
6	仙北	14,104	14,467	363	102.6%
7	城南	10,697	10,865	168	101.6%
8	山岸	12,629	12,680	51	100.4%
9	みたけ	7,792	7,818	26	100.3%
10	緑が丘	13,528	13,569	41	100.3%
11	中野	12,816	12,754	-62	99.5%
12	東厨川	11,414	11,270	-144	98.7%
13	太田	8,241	8,127	-114	98.6%
14	杜陵	5,241	5,124	-117	97.8%
15	仁王	11,786	11,460	-326	97.2%
16	繫	902	865	-37	95.9%
17	渋民	5,892	5,648	-244	95.9%
18	西厨川	12,196	11,646	-550	95.5%
19	青山	23,006	21,455	-1,551	93.3%
20	好摩	4,316	4,011	-305	92.9%
21	上田	15,507	14,366	-1,141	92.6%
22	乙部	8,737	8,019	-718	91.8%
23	加賀野	5,828	5,312	-516	91.1%
24	大慈寺	5,374	4,892	-482	91.0%
25	上米内	6,064	5,465	-599	90.1%
26	松園	18,939	16,841	-2,098	88.9%
27	築川	1,631	1,385	-246	84.9%
28	巻堀・姫神	1,429	1,184	-245	82.9%
29	北厨川	6,776	5,554	-1,222	82.0%
30	玉山・藪川	2,067	1,629	-438	78.8%
	合計	294,918	294,072	-846	99.7%

出所：住民基本台帳（2006年1月末及び2015年3月末）より本市作成

※ データ上の制約から、各地区に含まれる町丁・字は、コミュニティ推進地区と、完全には一致しない。

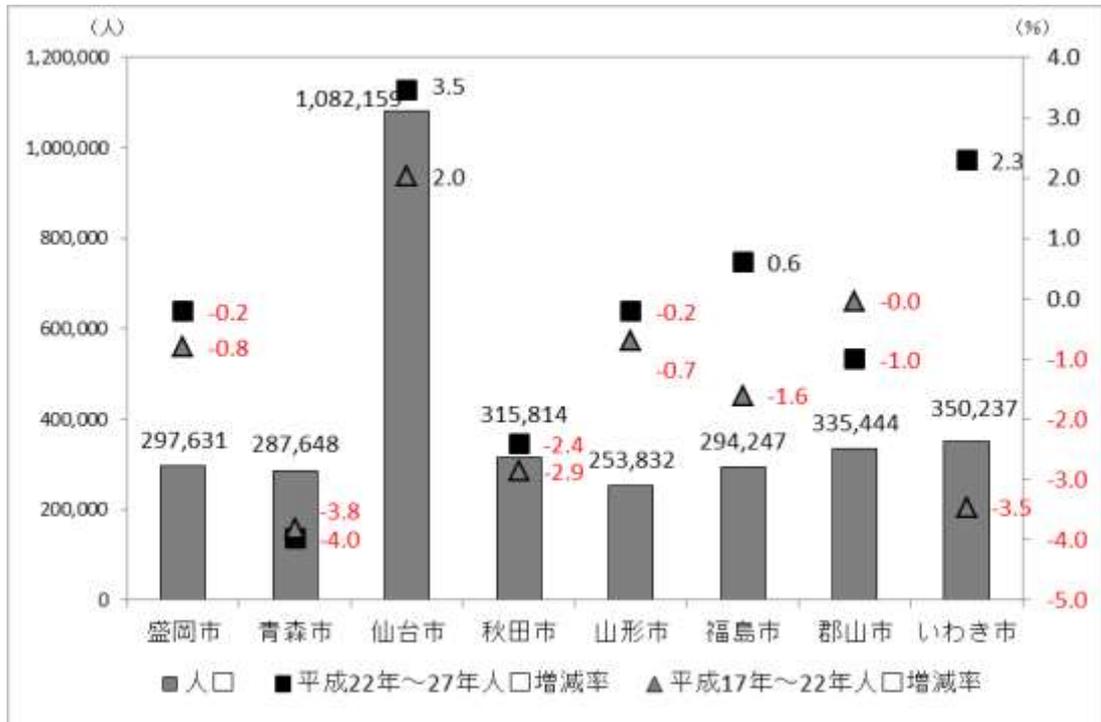
※ 町丁・字などの地区ごとの資料は、巻末の資料編に記載。

7 東北の主要都市との比較

平成17年及び22年の国勢調査から東北の主要都市の人口の推移を比較すると、**仙台市、福島市、いわき市の人口が増加し**、本市は、**0.2%**の減少ですが、他の都市に比べて減少幅が少ない水準となっています。

なお、本統計データ（図-5）は、東日本大震災以前のものであることから、震災後の人口の変化に留意する必要があります。

図-5 東北主要都市との人口及び人口の増減率の比較



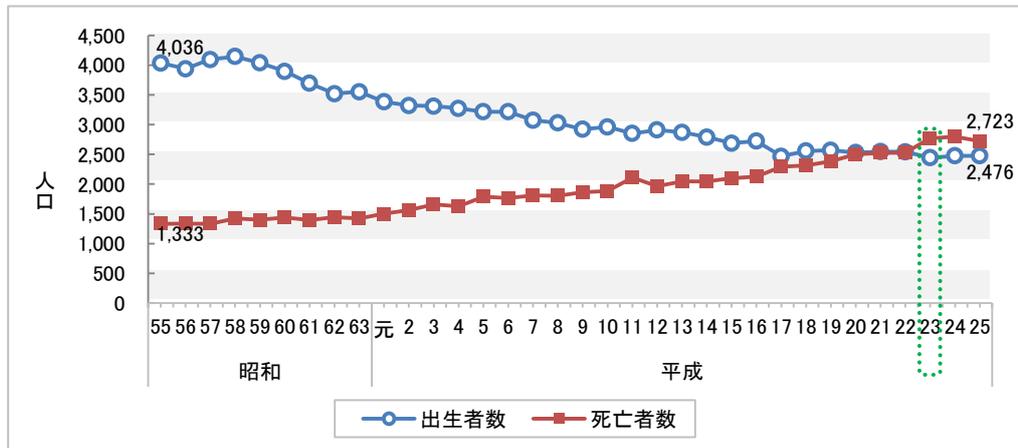
出所：国勢調査より本市作成

8 自然動態

本市の自然動態は、長期に渡ってプラスを維持しつつも出生者数の減少と死亡者数の増加が同時に進行し、プラス幅は年々減少傾向にあったところ、平成 23 年にマイナスに転じました。

なお、本統計は、各年 1 月 1 日から 12 月 31 日までを調査期間としており、10 月 1 日を基準日とする統計とは相違があります（図－2 参照）。

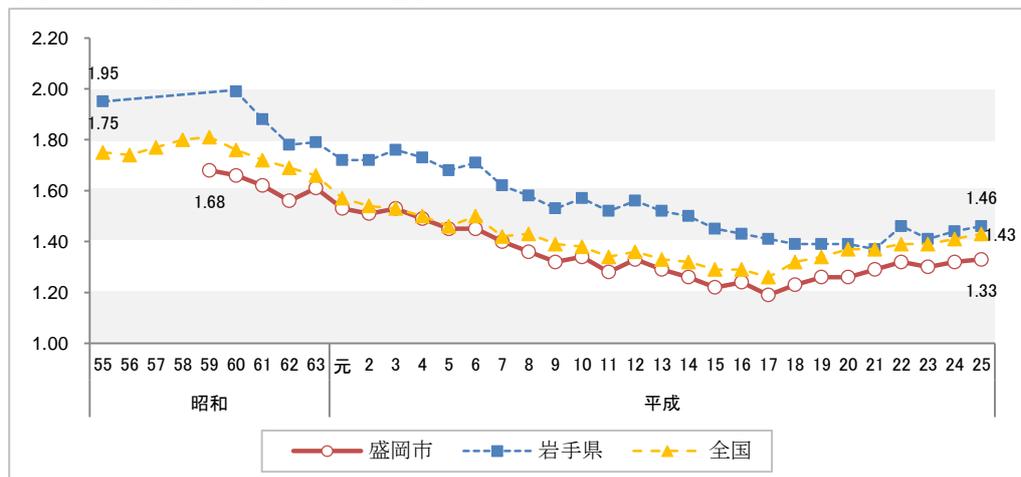
図－6 盛岡市の出生者数と死亡者数



出所：岩手県人口動態統計より本市作成

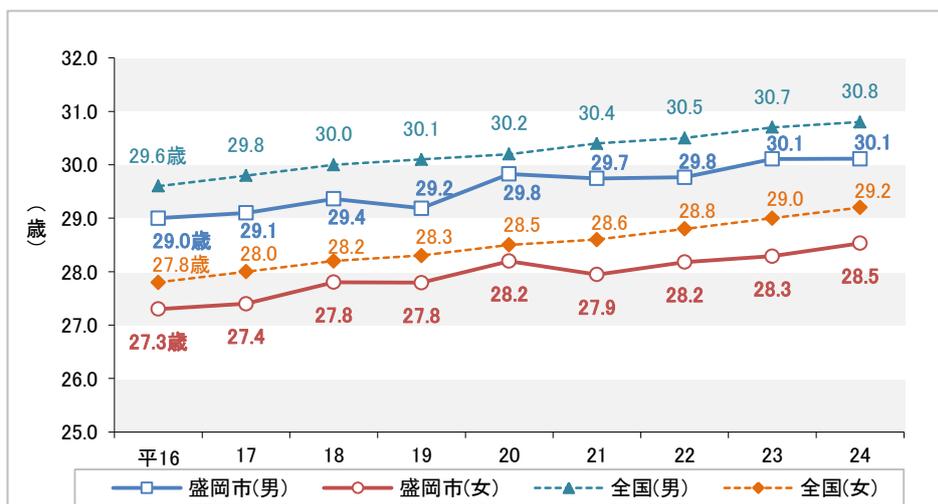
合計特殊出生率（15～49 歳の女性の年齢別出生率を合計したもの）は、長期に渡って減少傾向にあったところ、平成 18 年に上昇に転じ、平成 25 年度には 1.33 となっていますが、それでも全国及び岩手県の値を下回る水準です。今後、合計特殊出生率の対象となる 15 歳から 49 歳までの女性の人数の減少が見込まれることや晩婚化、未婚率の上昇などを背景に、出生数は減少していくものと見込まれます。

図－7 合計特殊出生率の推移



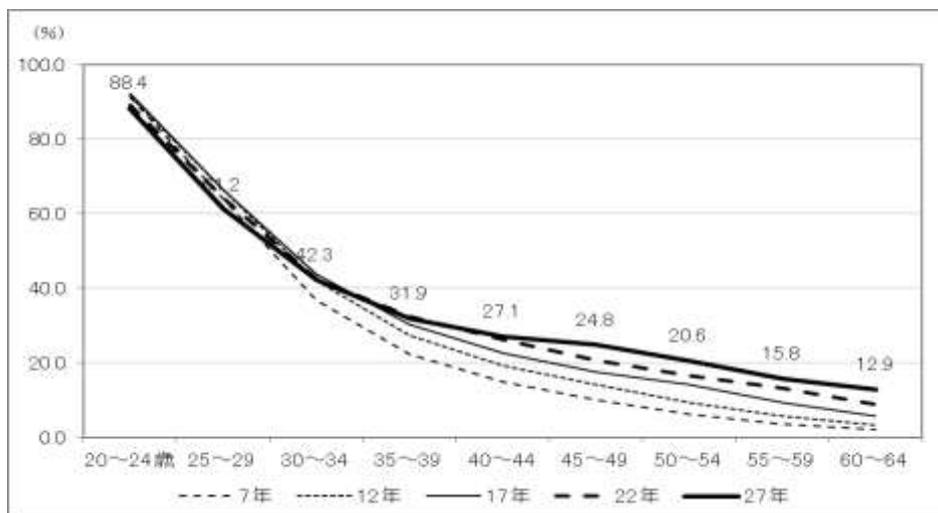
出所：岩手県人口動態統計より本市作成

図－8 初婚年齢の推移



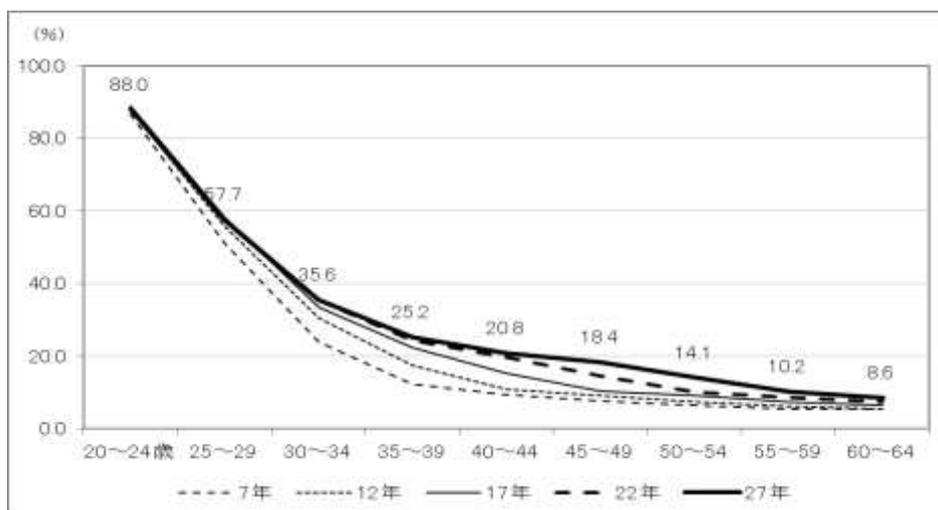
出所：岩手県保健福祉年報より本市作成

図－9－1 盛岡市の年代別未婚率（男性）



出所：国勢調査より本市作成

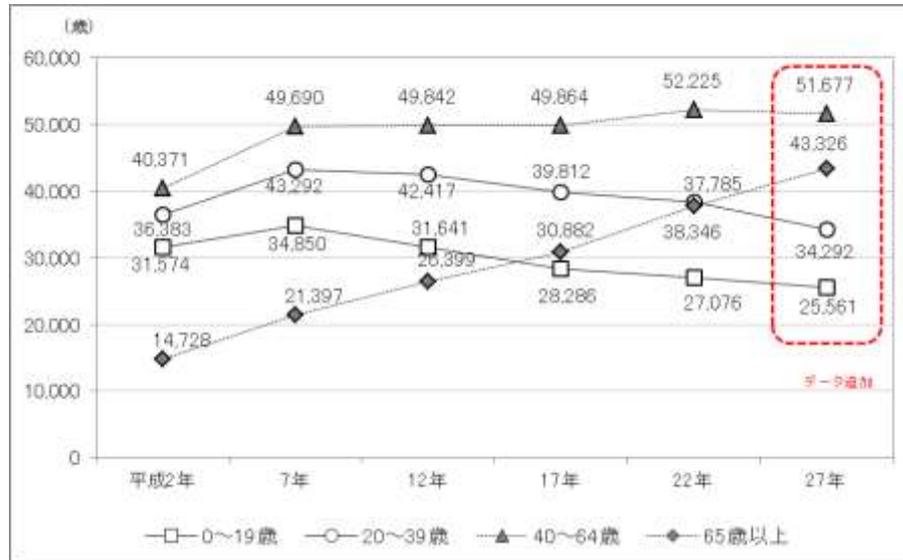
図－9－2 盛岡市の年代別未婚率（女性）



出所：国勢調査より本市作成

本市の女性人口は、20～39歳の結婚・妊娠・出産の中心となる年代、さらにそれに続く、0歳～19歳の年代で減少傾向にあります。

図-10 盛岡市の女性人口の推移

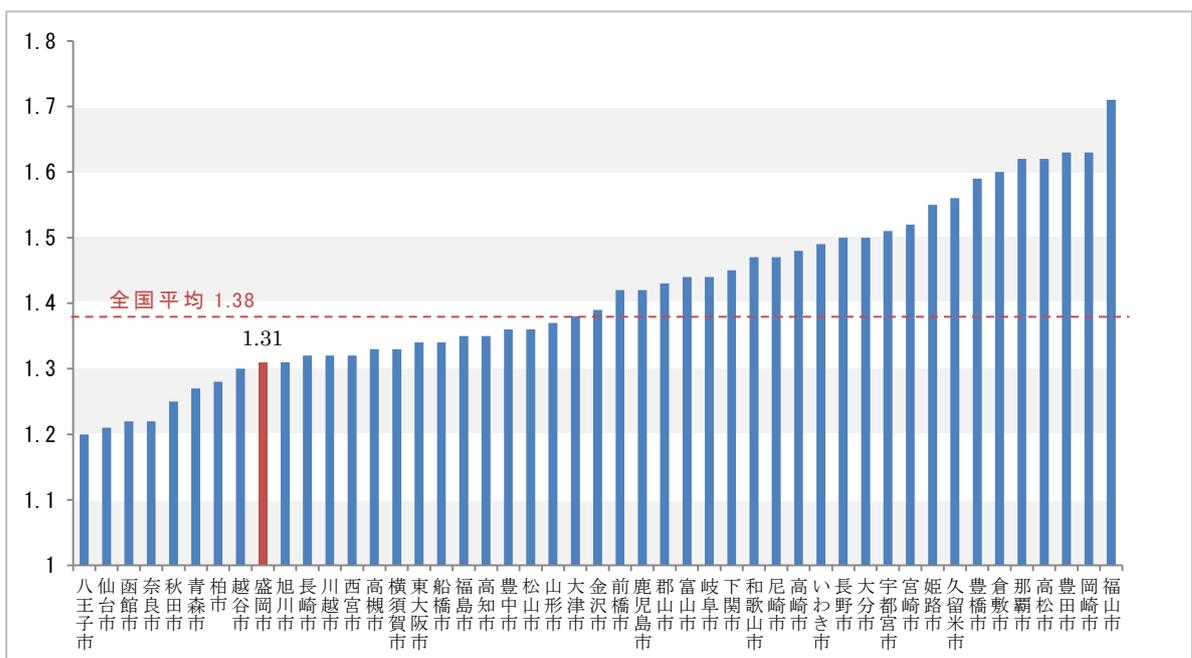


出所：国勢調査より本市作成

※「年齢不詳」は除いている。

東北の主要都市及び中核市（47市）との合計特殊出生率の比較では、本市は、38番目の低い水準です。

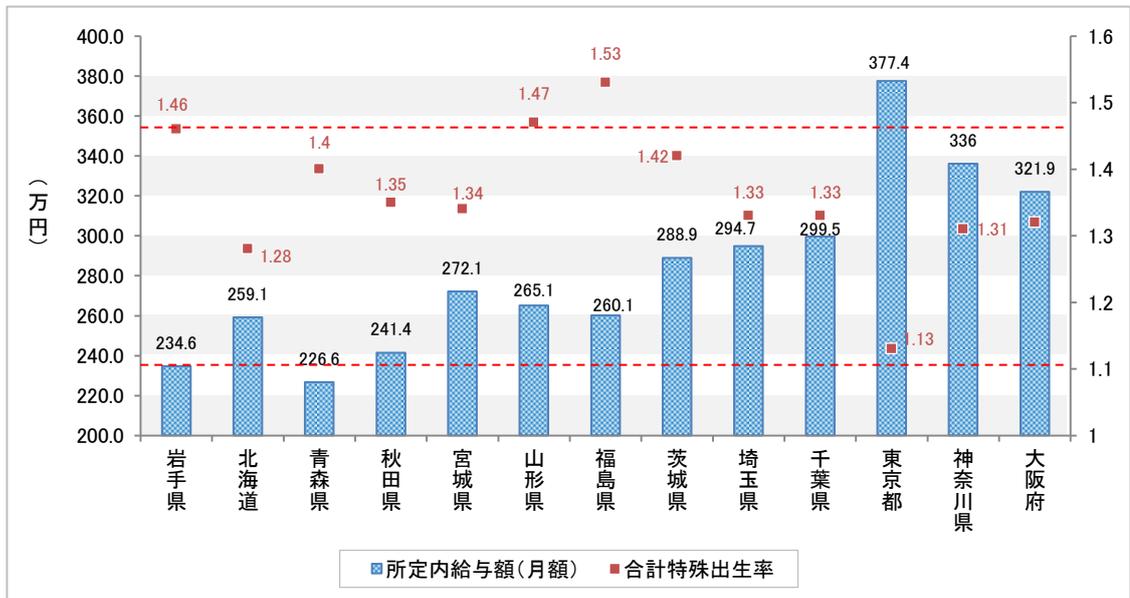
図-11 東北の主要都市及び中核市との合計特殊出生率の比較



出所：平成20～24年人口動態保健所・市町村別統計より本市作成

本市からの主な転出先（100人以上転出している都道府県）は、岩手県より給与額（月額）が高い地域が多く、また、岩手県より合計特殊出生率が低い地域が多くなっています。

図-12 盛岡市からの主な転出先の給与額（月額）と合計特殊出生率



出所：平成26年厚生労働省「賃金構造基本調査」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」及び厚生労働省「人口動態統計」より本市作成

岩手県の子育て世代（20代～30代）の所得は、全国の傾向と同様に低下傾向にあります。

図-13-1 収入階級別雇用者数（岩手県・20代男性）

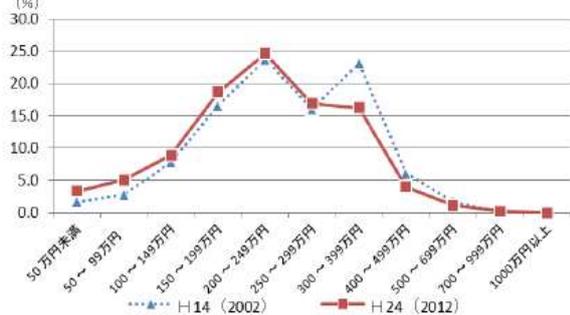


図-13-2 収入階級別雇用者数（岩手県・20代女性）

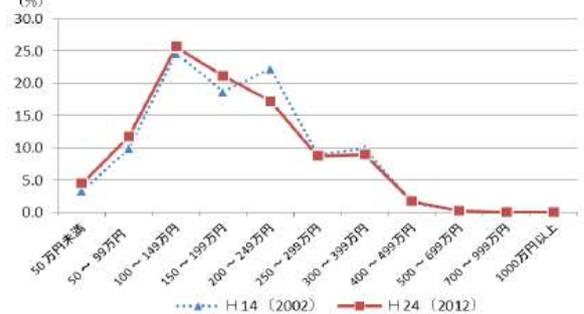


図-13-3 収入階級別雇用者数（岩手県・30代男性）

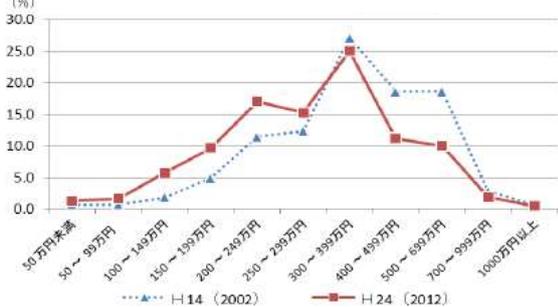
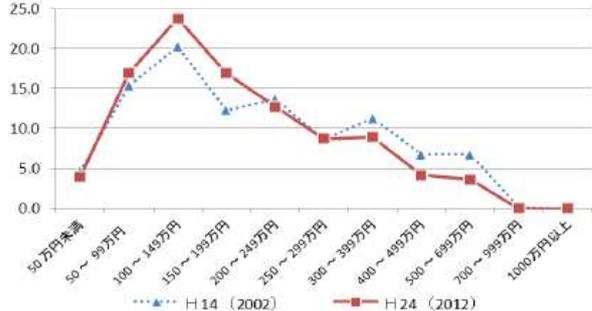


図-13-4 収入階級別雇用者数（岩手県・30代女性）



出所：いずれも「就業構造基本調査」より岩手県作成

岩手県の男性の非正規の職員・従業員は、全国の傾向と同様に、正規の職員・従業員より有配偶率が低くなっています。

図-14-1 雇用形態別の有配偶率（平成24年 岩手県・男性）

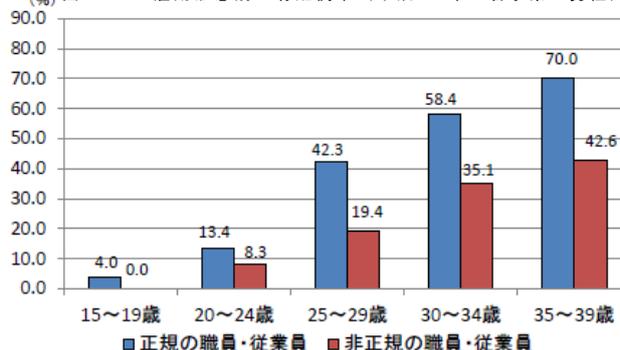
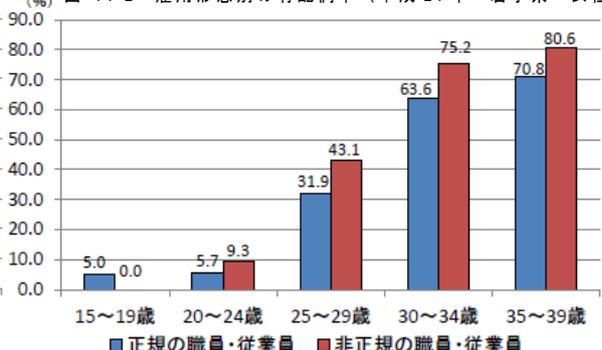


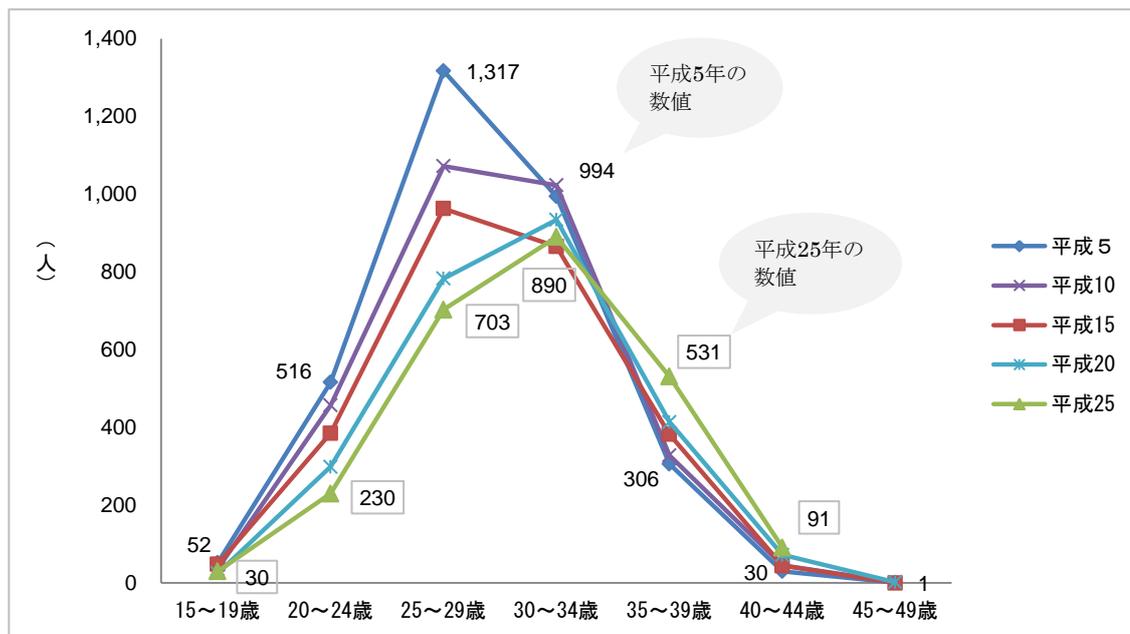
図-14-2 雇用形態別の有配偶率（平成24年 岩手県・女性）



出所：いずれも「就業構造基本調査」より岩手県作成

本市の年齢別出生数は、15歳から34歳までの年代で減少傾向にあり、35歳から44歳までの年代で増加傾向にあります。これは、昭和46年から49年生まれの、いわゆる団塊世代のジュニアといわれる世代が結婚・出産の年代を迎えたことによるものと考えられ、今後は、この年代においても出生数は減少することが予想されます。

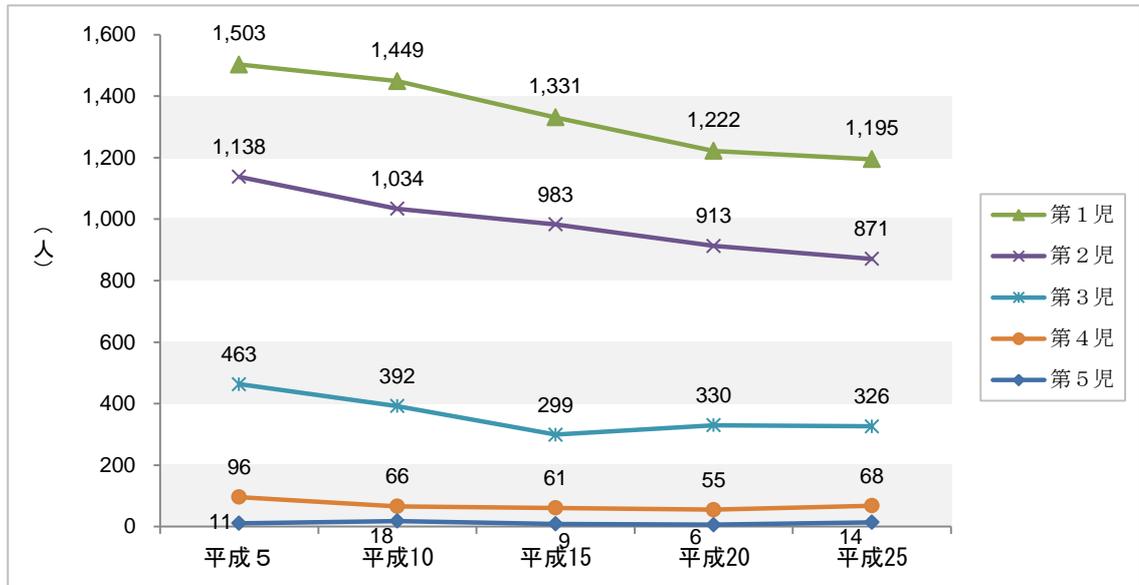
図-15 盛岡市の年齢別出生数



出所：岩手県保健福祉年報より本市作成

本市の出産順位別出生数は、第3児以降で横ばい傾向が見られますが、全体としては、減少する傾向にあります。

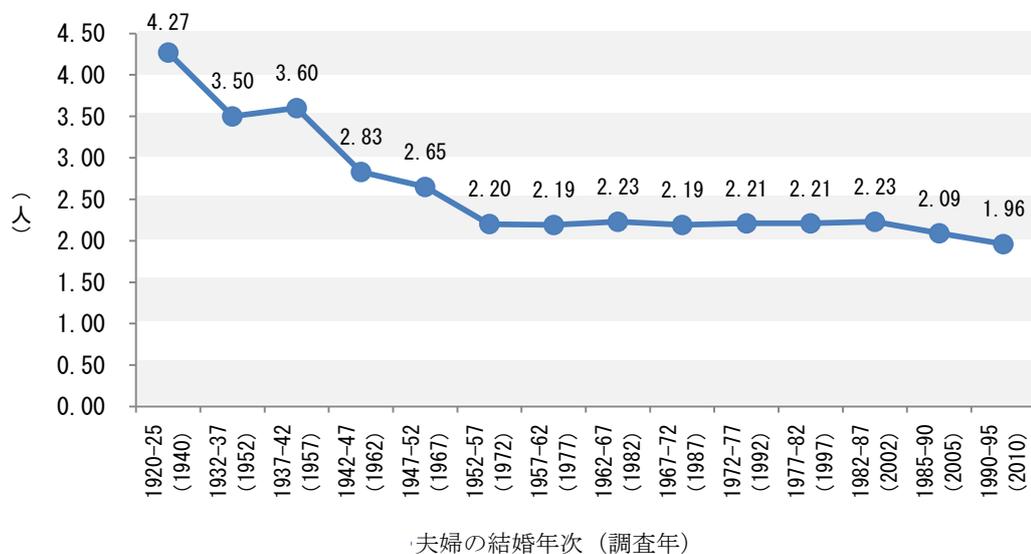
図-16 盛岡市の出産順位別出生数



出所：岩手県保健福祉年報より本市作成

全国の完結出生児数（結婚持続期間15～19年の夫婦の平均出生子ども数）は、長年2.2人程度で安定していたところ、2010年に初めて2.0人を下回りました。

図-17 全国の完結出生児数

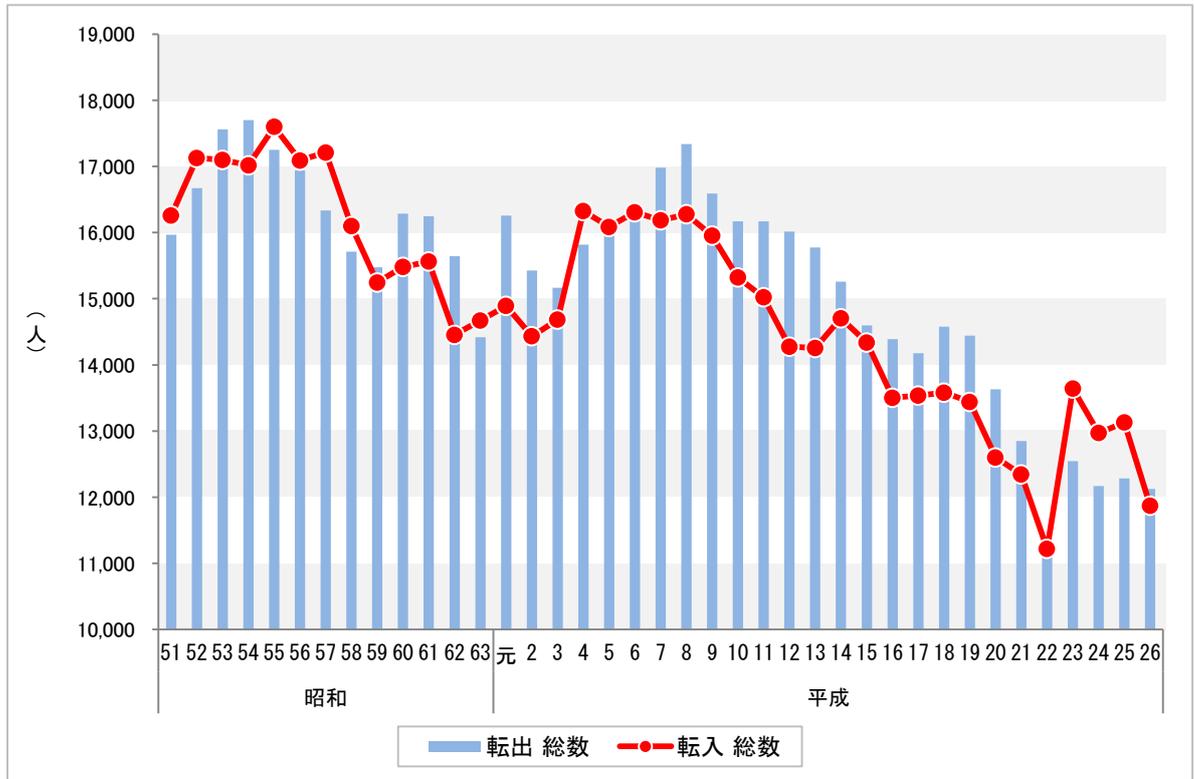


出所：平成22年・国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」

9 社会動態

本市の社会動態は、平成7年以降、500～1,000人規模の流出超過が続いてきましたが、平成23年以降流入超過に転じています。これは、東日本大震災に起因して、沿岸部等から避難者・移住者が流入してきていることや転出数が減少していることによるものと考えられます。

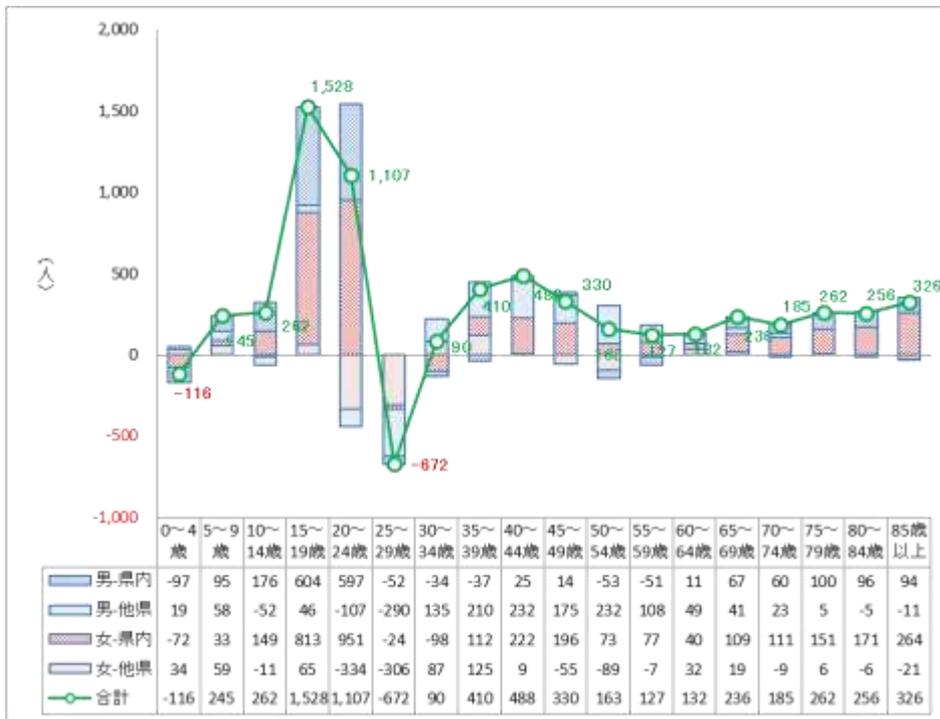
図-18 盛岡市の社会増減の推移



出所：戸籍・住民基本台帳関係資料より本市作成

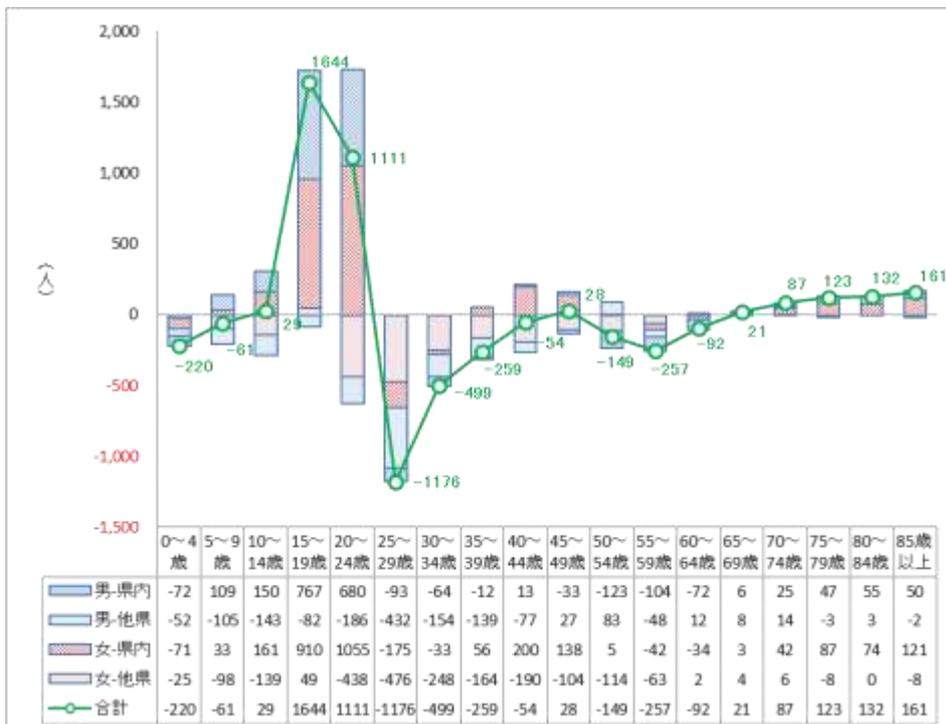
年齢別及び地域別の社会増減では、15歳から24歳までの高校・大学等への進学期に県内他地域からの流入が顕著となり、25歳から29歳までの就職期、結婚・出産期に、県外及び県内他地域、男女のすべての区分で転出超過となっています。また、移動数は少ないものの30歳以上の世代で、流入超過となっています。

図-19 盛岡市の年齢別地域別社会移動の状況



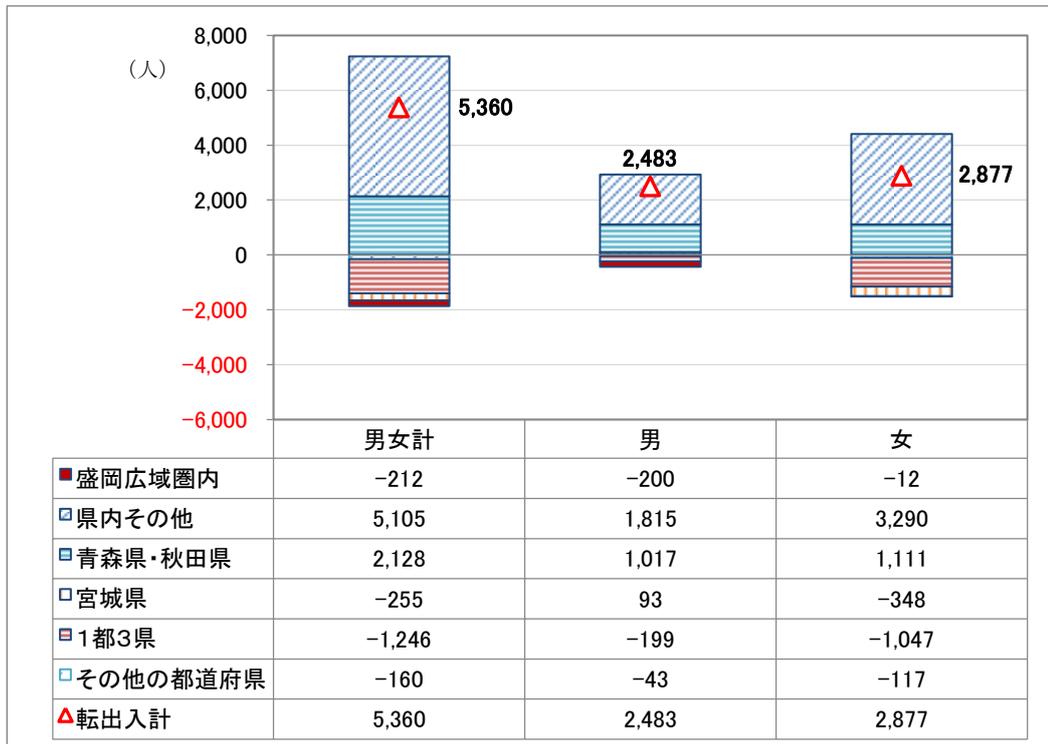
出所：平成27年国勢調査より本市作成

【参考】 盛岡市の年齢別地域別社会移動の状況（H22国勢調査）



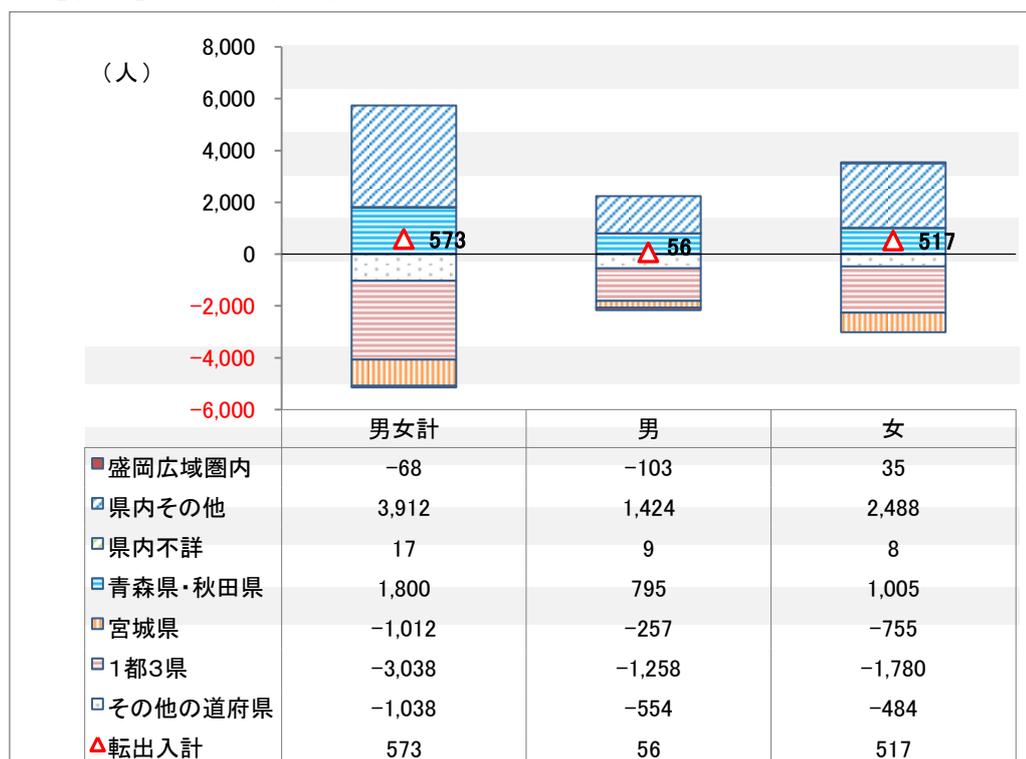
地域別の社会移動をさらに詳しく見ると、男女ともに県内他地域及び青森県・秋田県に対して流入超過となっており、一方で、宮城県・首都圏に対して流出超過となっています。

図-20 盛岡市の移動地域別社会移動



出所：平成27年国勢調査より企画調整課作成

【参考】 盛岡市の移動地域別社会移動（H22国勢調査）



出所：平成22年国勢調査より(株)日本経済研究所作成

本市への転入者の主な理由を年代別に見ると、20代から50代では「転勤」で移動する割合が最も高く、仕事上の理由で移動する割合が高くなっています。

仕事の関係以外の理由を見ると、10代では「進学・卒業等」の割合が最も高く、20代、30代では「結婚・離婚」の割合が高く、40代から60代で「住宅事情」の割合が高くなっています。

表－5 年代別の異動の主な理由（盛岡市に転入）

区分	総数	異動の主な理由								
		仕事の関係				進学・卒業等	結婚・離婚	家族と同居	住宅事情	その他
		転勤	転業・転職	就職	家業後継					
10代	65 (100.0)	2 (3.1)	3 (4.6)	8 (12.3)	0 (0.0)	42 (64.6)	0 (0.0)	2 (3.1)	3 (4.6)	5 (7.7)
20代	624 (100.0)	165 (26.4)	129 (20.7)	119 (19.1)	2 (0.3)	35 (5.6)	73 (11.7)	28 (4.5)	34 (5.4)	39 (6.3)
30代	464 (100.0)	247 (53.2)	58 (12.5)	7 (1.5)	3 (0.6)	5 (1.1)	56 (12.1)	20 (4.3)	39 (8.4)	29 (6.3)
40代	245 (100.0)	161 (65.7)	18 (7.3)	4 (1.6)	0 (0.0)	4 (1.6)	8 (3.3)	8 (3.3)	22 (9.0)	20 (8.2)
50代	131 (100.0)	73 (55.7)	10 (7.6)	2 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (3.1)	7 (5.3)	19 (14.5)	16 (12.2)
60代	24 (100.0)	1 (4.2)	3 (12.5)	2 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (8.3)	4 (16.7)	7 (29.2)	5 (20.8)
70歳以上	8 (100.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	4 (50.0)
合計	1,561 (100.0)	650 (41.6)	222 (14.2)	142 (9.1)	5 (0.3)	86 (5.5)	143 (9.2)	70 (4.5)	125 (8.0)	118 (7.6)

出所：平成21年盛岡市人口移動理由実態調査報告書

本市からの転出者の主な理由を年代別に見ると、20代では「就職」で移動する割合が最も高く、30代から50代では「転勤」で移動する割合が最も高く、仕事上の理由で移動する割合が高くなっています。

仕事の関係以外の理由を見ると、10代では「進学・卒業等」の割合が最も高く、20代、30代では「結婚・離婚」の割合が高く、40代から50代で「住宅事情」の割合が高く、60代以上で「家族と同居」の割合が高くなっています。

表－6 年代別の異動の主な理由（盛岡市から転出）

区分	総数	異動の主な理由								
		仕事の関係				進学・卒業等	結婚・離婚	家族と同居	住宅事情	その他
		転勤	転業・転職	就職	家業後継					
10代	133 (100.0)	2 (1.5)	2 (1.5)	39 (29.3)	0 (0.0)	78 (58.6)	4 (3.0)	7 (5.3)	0 (0.0)	1 (0.8)
20代	723 (100.0)	168 (23.2)	102 (14.1)	197 (27.2)	5 (0.7)	33 (4.6)	87 (12.0)	51 (7.1)	40 (5.5)	40 (5.5)
30代	472 (100.0)	241 (51.1)	61 (12.9)	8 (1.7)	3 (0.6)	2 (0.4)	54 (11.4)	39 (8.3)	47 (10.0)	17 (3.6)
40代	237 (100.0)	143 (60.3)	28 (11.8)	1 (0.4)	1 (0.4)	4 (1.7)	11 (4.6)	19 (8.0)	20 (8.4)	10 (4.2)
50代	153 (100.0)	84 (54.9)	17 (11.1)	0 (0.0)	3 (2.0)	1 (0.7)	5 (3.3)	7 (4.6)	23 (15.0)	13 (8.5)
60代	50 (100.0)	4 (8.0)	3 (6.0)	0 (0.0)	3 (6.0)	0 (0.0)	1 (2.0)	17 (34.0)	10 (20.0)	12 (24.0)
70歳以上	21 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (66.7)	1 (4.8)	6 (28.6)
合計	1,789 (100.0)	642 (35.9)	213 (11.9)	245 (13.7)	15 (0.8)	118 (6.6)	162 (9.1)	154 (8.6)	141 (7.9)	99 (5.5)

出所：平成21年盛岡市人口移動理由実態調査報告書

4 町丁字別の人口増減の変化（変化率の高い順）

町丁字名	2006年	2015年	増減数	変化率
長橋町	828	2,353	1,525	284.2%
上ノ橋町	341	550	209	161.3%
盛岡駅前通	627	939	312	149.8%
本宮1～7丁目, 向中野1～7丁目, 北飯岡1～4丁目, 本宮字, 向中野字, 飯岡新田	13,787	20,306	6,519	147.3%
津志田西1～2丁目	1,228	1,769	541	144.1%
志家町	669	950	281	142.0%
東安庭1～3丁目	2,017	2,716	699	134.7%
盛岡駅西通1～丁目	1,320	1,744	424	132.1%
門1～2丁目	1,420	1,724	304	121.4%
浅岸1～3丁目・浅岸字・加賀野字	2,727	3,286	559	120.5%
肴町	1,190	1,404	214	118.0%
津志田中央1～3丁目	2,324	2,725	401	117.3%
緑が丘1～4丁目	4,614	5,287	673	114.6%
天神町	680	775	95	114.0%
玉山区洪民字	1,591	1,794	203	112.8%
中ノ橋通1～2丁目	770	867	97	112.6%
下太田	2,704	3,020	316	111.7%
前潟1～4丁目, 上厨川字	1,442	1,596	154	110.7%
津志田町1～3丁目	1,187	1,309	122	110.3%
南仙北1～3丁目	4,559	4,994	435	109.5%
津志田南1～3丁目	1,820	1,958	138	107.6%
東見前	2,521	2,694	173	106.9%
神明町	518	551	33	106.4%
南青山町	1,423	1,510	87	106.1%
平賀新田字	265	281	16	106.0%
開運橋通	628	665	37	105.9%
中央通1～3丁目	1,853	1,949	96	105.2%
名須川町	1,192	1,251	59	104.9%
西見前	4,903	5,144	241	104.9%
大館町	1,972	2,067	95	104.8%
津志田	2,554	2,645	91	103.6%
永井	7,973	8,231	258	103.2%
大沢川原1～3丁目	1,128	1,151	23	102.0%
大通1～3丁目	848	864	16	101.9%
門字	265	268	3	101.1%
城西町	1,237	1,251	14	101.1%
加賀野1～4丁目	3,546	3,580	34	101.0%
本町通1～3丁目	4,597	4,634	37	100.8%
中堤町	2,504	2,519	15	100.6%
西仙北一1～2丁目	3,055	3,073	18	100.6%
夕顔瀬町	1,370	1,375	5	100.4%
みたけ1～6丁目	7,792	7,818	26	100.3%
南大通1～3丁目	2,283	2,290	7	100.3%
三本柳	6,807	6,825	18	100.3%
材木町	926	925	-1	99.9%
上堂1～4丁目	4,028	4,023	-5	99.9%
前九年1～3丁目	3,685	3,675	-10	99.7%
黒石野1～3丁目	3,756	3,730	-26	99.3%
黒川	2,968	2,946	-22	99.3%
東仙北1～2丁目	2,502	2,481	-21	99.2%
三ツ割1～5丁目	2,196	2,169	-27	98.8%
山王町	990	974	-16	98.4%
仙北1～3丁目	3,988	3,919	-69	98.3%
菜園1～2丁目	399	392	-7	98.2%
北天昌寺町	1,727	1,691	-36	97.9%
西下台町	1,382	1,338	-44	96.8%
安倍館町	1,157	1,117	-40	96.5%
下米内1～2丁目	1,437	1,387	-50	96.5%
繫字	902	865	-37	95.9%
箱清水1～2丁目	1,813	1,738	-75	95.9%
荅園町	489	468	-21	95.7%
玉山区芋田字	457	437	-20	95.6%
高松1～4丁目	6,021	5,756	-265	95.6%
小杉山	464	443	-21	95.5%
三ツ割字	800	763	-37	95.4%
上田字	769	733	-36	95.3%
山岸1～6丁目	6,917	6,584	-333	95.2%
長田町	1,133	1,072	-61	94.6%
天昌寺町	863	815	-48	94.4%
清水町	1,680	1,582	-98	94.2%
猪去	675	635	-40	94.1%
茶畑1～2丁目	2,131	2,003	-128	94.0%
西青山1～3丁目	7,235	6,772	-463	93.6%
境田町	1,702	1,584	-118	93.1%
中屋敷町	1,104	1,027	-77	93.0%
東中野字	1,982	1,842	-140	92.9%
中太田	1,914	1,774	-140	92.7%
玉山区好摩字	3,859	3,574	-285	92.6%
住吉町	1,052	972	-80	92.4%
上太田	2,123	1,960	-163	92.3%
北夕顔瀬町	1,174	1,080	-94	92.0%

町丁字名	2006年	2015年	増減数	変化率
上飯岡	989	909	-80	91.9%
東黒石野 1～3丁目	1,428	1,310	-118	91.7%
上田堤 1～2丁目	1,800	1,651	-149	91.7%
湯沢西 1～3丁目	792	725	-67	91.5%
新田町	1,341	1,225	-116	91.3%
小鳥沢 1～2丁目	2,957	2,701	-256	91.3%
館向町	1,951	1,775	-176	91.0%
愛宕町	1,163	1,058	-105	91.0%
盛岡駅前北通	1,513	1,376	-137	90.9%
大新町	1,518	1,379	-139	90.8%
玉山区下田字	3,568	3,241	-327	90.8%
東山一丁目	2,930	2,661	-269	90.8%
松園 1～3丁目	3,332	3,024	-308	90.8%
下飯岡	1,222	1,108	-114	90.7%
下ノ橋町	675	612	-63	90.7%
内丸	266	241	-25	90.6%
東緑が丘	1,761	1,591	-170	90.3%
月が丘 1～3丁目	6,279	5,654	-625	90.0%
神子田町	1,346	1,211	-135	90.0%
青山 1～4丁目	5,565	5,000	-565	89.8%
玉山区巻堀	284	255	-29	89.8%
上田 1～4丁目	4,966	4,451	-515	89.6%
上鹿妻	825	738	-87	89.5%
乙部	2,699	2,403	-296	89.0%
岩清水	473	421	-52	89.0%
北松園 1～4丁目	4,451	3,959	-492	88.9%
八幡町	904	804	-100	88.9%
上米内字	1,480	1,316	-164	88.9%
湯沢	929	824	-105	88.7%
北山 1～2丁目	1,811	1,603	-208	88.5%
高崩	42	37	-5	88.1%
手代森	2,657	2,339	-318	88.0%
東新庄 1～2丁目	1,465	1,289	-176	88.0%
羽場	966	849	-117	87.9%
根田茂	66	58	-8	87.9%
桜台 1～3丁目	3,147	2,762	-385	87.8%
湯沢南 1～2丁目	1,405	1,232	-173	87.7%
新庄町	567	497	-70	87.7%
川目	1,314	1,149	-165	87.4%
紺屋町	532	463	-69	87.0%
下鹿妻字	500	435	-65	87.0%
中野 1～2丁目	1,863	1,610	-253	86.4%
馬場町	868	750	-118	86.4%
東中野町	935	807	-128	86.3%
西松園 1～4丁目	3,275	2,823	-452	86.2%
東松園 1～4丁目	4,092	3,527	-565	86.2%
東安庭字	420	361	-59	86.0%
つつじが丘	1,516	1,291	-225	85.2%
玉山区門前寺字	239	203	-36	84.9%
厨川 1～5丁目	6,249	5,300	-949	84.8%
鉦屋町	790	670	-120	84.8%
東桜山	509	431	-78	84.7%
玉山区川崎字	188	159	-29	84.6%
玉山区寺林字	291	246	-45	84.5%
山岸字	369	310	-59	84.0%
紅葉が丘	907	757	-150	83.5%
松尾町	706	589	-117	83.4%
川目町	693	577	-116	83.3%
土淵字	433	360	-73	83.1%
下米内字	330	274	-56	83.0%
稲荷町	732	607	-125	82.9%
玉山区松内字	306	251	-55	82.0%
大慈寺町	160	130	-30	81.3%
玉山区日戸字	489	397	-92	81.2%
玉山区永井字	340	274	-66	80.6%
大ヶ生	413	331	-82	80.1%
梨木町	835	667	-168	79.9%
玉山区馬場字	514	409	-105	79.6%
玉山区川又字	513	407	-106	79.3%
湯沢東 1～3丁目	1,228	972	-256	79.2%
玉山区玉山字	679	537	-142	79.1%
築川	100	78	-22	78.0%
玉山区上田字	40	31	-9	77.5%
玉山区藪川字	346	257	-89	74.3%
岩脇町	988	720	-268	72.9%
砂子沢	151	100	-51	66.2%
新庄字	291	188	-103	64.6%
流通センター北一丁目	235	133	-102	56.6%
下厨川字	527	254	-273	48.2%
合計	294,918	294,072	-846	99.7%

出所：住民基本台帳（2006年1月末及び2015年3月末）より本市作成